

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 三菱化学株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル	
本票作成	部署名： 三菱化学株式会社 水島事業所 企画管理部				
主たる業種	分類コード	16	業種名： 化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業 エチレン生産能力43.1万トン/年(代表製品)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	三菱化学株式会社水島事業所		倉敷市潮通3丁目10番地	
	②	水島製造所(旧三菱樹脂株)		倉敷市松江4-6-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2ヶ所 ●車両台数(②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 29 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 0.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 24 年度)			目標年度(平成 29 年度)					
	1,105,786 t CO ₂			1,105,786 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度(平成 24 年度)の排出量					
	①	三菱化学株式会社水島事業所		1,090,000 t CO ₂					
	②	水島製造所(旧三菱樹脂株)		15,786 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 24 年度)	達成率(%)
指標の状況	石油化学系基礎製品製造業	11.9GJ/ton-HVC	12.3GJ/ton-HVC	96.7%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

平成24年度の水島事業所における排出実績は、109万tCO₂であり、当初の計画(平成21年度基準年162万tCO₂→平成24年度に25%削減の122万tCO₂)と比較し、操業度の低下という要因はあるものの、削減措置の着実な実施の結果、目標を大きく超えた33%という大幅な削減を実現できた。従って、今後5年間は、大幅に低減を実現したCO₂排出量の現状維持を目標として掲げる事とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

- ・推進体制： 水島事業所組織に順ずる
- ・ISO14001認定取得： 2000/03
- ・水島事業所RCレポート発行： 2004年度～ 毎年

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
三菱化学株式会社水島事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・発電所 燃焼条件最適化 ・発電所 配電設備最適化 ・低密度ポリエチレン製造装置 冷凍機更新 ・電解製造装置 生産停止 ・塩ビモノマー製造装置 生産停止 ・アクリロニトリル製造装置 副生燃料への切り替えによる燃料削減 ・エチレン製造装置 設備負荷最適化
水島製造所（旧三菱樹脂株）	<ul style="list-style-type: none"> ・電気ヒータ保温強化

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
三菱化学株式会社水島事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・水素・オキシソ製造装置 圧縮機更新による効率向上 ・水素・オキシソ製造装置 製造設備集約によるロス低減 ・発電所 ボイラー燃料原単位向上 ・アルコール製造装置 蒸留塔運転条件最適化による蒸気削減
水島製造所（旧三菱樹脂株）	<ul style="list-style-type: none"> ・製造室天井照明の省エネ（5t-Co2/年削減） ・省エネベルト採用（174t-Co2/年削減） ・ヒーター加熱設備の保温強化（9t-Co2/年削減） ・冷却水ポンプINV化（30t-Co2/年削減） ・シートハウス蛍光灯化（14t-Co2/年削減）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- 石油系タールピッチ
 - ・石油系タールピッチ由来のCO₂（温対法の算定対象活動・区分に該当しない）が、平成24年度＝348千ton発生している。
- 三菱樹脂水島製造所
 - ・平成25年度の活動から、三菱樹脂水島製造所のエネルギー管理を、省エネ法の地縁的一体の考えに基づき、一括して管理する事とする（関東経済産業局へは申請済み、受理予定）